

2010年度第1回執行理事会議事録

期 日：2010年6月5日（土） 13:00～18:00

場 所：地質学会事務局

出席者：宮下会長，久田・渡部副会長

藤本(常務)，斎藤(副常務)，石渡，小嶋，坂口，高木，内藤，中井，西，平田，藤林，星，向山，各執行理事，（前期理事） 上砂 倉本（事務局）橋辺

欠席者：井龍 山口 各理事，（前期理事） 佃，岩森，矢島

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者16名，委任状2名，合計18名の出席で執行理事会の開催は成立した。

*本執行理事会は，前年度と今年度の引き継ぎの執行理事会とする。

I 報告事項

(1) 運営財政部会：総務委員会

<外部の賞の募集>

1. 日本学術振興会第1回「育志賞」受賞候補者の推薦依頼：22/4/4 現在34歳未満の大学院生，大学長推薦，学会長推薦，推薦期間7/29-8/2
2. 文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞受賞候補者の推薦依頼，推薦〆切7/16
3. 第14回尾瀬賞の募集，湿原に関する研究，自薦応募，募集期間4/1-8/31
4. 女性科学者に明るい未来をの会より第31回猿橋賞の推薦依頼，50歳未満，推薦〆切11/30

<共催・後援その他依頼・要請等>

1. 日本ジオパーク糸魚川大会（8/22-23，委員長 米田徹糸魚川市長）の後援依頼を承諾。
2. International Commission on the History of Geological Sciences（IUGSの傘下，国際地質学史委員会 INHIGE0）2011年日本開催，同，日本開催準備委員会（委員長 鈴木尉元会員）からの共催依頼および資金協力（20万円）依頼，2011/08/2-10，愛知大学（豊橋市）

共催については，同国際委員会本部からの共催依頼や諸資料を確認したうえとすること（担当：石渡国際担当），資金援助については，詳しい資金計画が提示された時点で検討する。

3. 第四紀学会シンポジウム「学校教育で地学は生き残れるか？」の講師派遣依頼
地質学会からのコメンテーターとして藤林理事が参加することを承諾。
4. 地震学会・火山学会共催（実行委員長 岡村 眞）「地震火山こどもサマースクール」室戸大会8/7-8，の後援依頼を承諾。

5. 神奈川県立生命の星・地球博物館より「日本列島 20 億年 その生き立ちを探る」7/17-11/7, 後援依頼を承諾.
6. 埼玉県地学研究委員会(担当委員 岡野裕一会員) より, 県内の理科教員を対象とした「秩父盆地周辺の地域での見学会」の後援依頼がある予定, 7/28-29
正式に依頼があった段階で検討する.
7. JABEE 総会案内 (6/9)

<その他>

1. 地学オリンピック日本委員会; 国際地学オリンピック 2012 組織委員会より
平成 21 年度事業報告・決算報告および 22 年度事業計画および予算について報告あり.
・第 6 回国際地学オリンピック日本開催 (2012 年) への寄付依頼 (1 口 5 万円以上), および組織委員会委員 (会長クラス) 1 名の推薦依頼
*上記については, 地質学会がメインスポンサーのひとつになることにする. また学会からの委員推薦については久田副会長に一任する.
・第 4 回国際地学オリンピック派遣活動への協賛団体加入と協賛金依頼 (1 口 5 万円以上)
2. 地盤工学会より役員交代挨拶: 日下部治会長
3. 資源素材学会役員交代挨拶: 河野正樹会長
4. 石灰石工業協会役員交代挨拶: 渡邊 穰会長
5. 東京大学大気海洋研究所(柏キャンパス)の設立挨拶: 西田睦所長, 海洋研究所と気候システム研究センターの統合
6. 大学評価学位授与機構より平成 22 年度実施の期間別認証評価に関わる専門委員の選考について, 本会推薦委員の選考はなかったとの通知.
7. 学会の新体制挨拶は, 他学会に倣って行う.

<会員の動静その他>

1. 今月の入会者 (23 名)
正会員 (3) 伊規須素子, 秋山道生, 安藤生大(再入)
正会員; 院割 (16) 古山精史朗, 小福田大輔, 村岡 諭, 伊藤 光, 日達宇彦, 蓋盛拓海,
星木勇作, 安富友樹人, 宮崎智美, 金光玄樹, 綿引麻衣子, 佐藤 景, 前谷孝志, 富永嘉人, 瀧井喜和子, 弓 真由子
正会員; 学部割 (3) 藤本辰弥, 高地吉一, 小原北士
2. 今月の退会者・逝去者
退会 (正 5) 千田敬二, 馬場奈緒子, 梶 琢, 泉 健太, 若林秀嗣

逝去（正1）北川隆司（逝去日 2009/8/9）

3. 5月末日会員数

賛 28 名 譽 75 正会員 4026（内訳：正 3912，院割 111，学部割 3）合計 4129（昨年比 -145）

(2) 運営財政部会：会計委員会

1. News 誌広告の広告スポンサーの増加奨励のため広告料について検討し、以下のようにした。

年度内(4月～3月)あるいは1巻内(1号～12号)で、継続または断続的な広告掲載を予約したスポンサーには、割引価格で提供する。4回の場合：10%割引，6回の場合：15%割引。これで、スポンサーを増やすことを目指す。

(3) 広報部会：広報委員会

1. 友の会ワーキンググループの設立。

世話人：坂口有人 広報担当理事，社会貢献担当理事

支部推薦メンバー：藤林理事，内藤理事，渡部副会長，廣瀬 亘（北海道・道総研），笠間友博（関東・神奈川県博），井内美郎（関東・早稲田大）里口保文（近畿・琵琶湖博），辻野康広（四国・徳島県博），川村喜一郎（広報・深田研），清川昌一（広報・九大），太田泰弘（広報・北九州自然史博）

学生会員の卒業時にやめるのをつなぎ止めるのにも使えるのではないか。→会員担当と相談して検討する。当面は新たなファン獲得のために。

(4) 学術研究部会：行事委員会(担当：星委員長)

1. News 誌5月号に予告記事を掲載した。講演申込みはこれまで同様 JST，参加登録等は学会 HP 上から申し込むシステムとなった。

2. コンベンション事業への自治体からの補助金申請に対応するため，会員は個人的に宿泊施設の確認をとる必要があり，取りまとめはアカデミックブレインズが行う。

3. 地質情報展関係

会期 9/18-19 会場 富山市民プラザ

後援団体：富山市，富山市教育委員会，富山県教育委員会，NHK 富山放送局，北日本新聞社，財団法人立山カルデラ砂防博物館，富山大学，日本ジオパークネットワーク，富山県地質調査業協会，斜面防災対策技術協会富山支部

4. 大会にモンゴル地質学会副会長を招待する。韓国地質学会の会長は都合により来られない。

5. 地質情報展は，行事委員長をヘッドとして早急に地質学会としての対応を決める。行事委員長の引き継ぎ時なので，情報展についての代理は斎藤が務める。

(5) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会（小嶋編集委員長）

1. 編集状況報告（6月2日現在）.

2010年度投稿論文 総数34編 [総説9（和文9），論説14（和文12・英文2），報告3（和文3），短報6（和文6）ノート2（和文1・英文1）] 口絵7（和文4 英文3）

査読中 47編 受理済み 26編（うち通常号8 特集号18）

2. 新体制について，委員会として下記のとおり決定した.

委員長：小嶋 智， 副委員長：山路 敦，岩森 光（企画担当）

3. 5月23日の連合大会時に編集委員会を開催した. 特集号編集の遅延について，今後は委員会が積極的に進捗状況を把握・管理したほうが良いとの議論があった. また企画部会の役割と今後の活動についても議論があった.

(6) 編集出版部会：アイランドアーク編集委員会（井龍編集委員長）

1. 編集状況報告

・サイテーションインデックスは横ばいかやや上向き.

・最多ダウンロード賞はW-Blackwell 社から出す(WBのサインだけにする).

退任する編集委員には感謝状を出す(WB担当責任者と宮下会長のサイン).

(7) 編集出版部会：企画出版委員会（担当：山口執行理事，代行藤林執行理事）

1. 地学読本が刊行された(原田会員，地質学会監修，愛智出版)

序文について，木村元会長名の序文が宮下会長名にかわって出てしまったことについて，編集責任者からの謝罪があった.

2. 城が島リーフレット（蟹江会員）は，2回目の査読が済み，著者に返送.

3. 年代表のリーフレット（清川会員）は，査読開始.

4. 大根島のリーフレットは沢田会員が作成する予定.

5. 「地球の地形大研究」（PHP出版）の監修は進行中.

(8) 社会貢献部会

1. 地質の日の行事として5月8日に市民講演会（白尾元理会員の講演と写真）を開催. 90名ほどの参加者で盛会であった.

2. 2011年（磐梯山予定）からの「地震火山こどもサマースクール」共催について，予算措置と担当の検討が必要. 現在，地震学会は30万円，火山学会は20万円の拠出をしている.

担当理事を決め，社会貢献部会で検討する.

II 審議事項

1. 執行理事会および委員会の構成について

1) 執行理事の担当,

常務：藤本，副常務：斎藤

運営財政部会：部会長 向山執行理事 会計委員会は佐々木理事を予定

広報部会：部会長 坂口執行理事(ジオルジュ，友の会立ち上げほか)

内藤執行理事(Geo-Flash 担当)

旧広報委員会は不要の可能性があるので広報部会内で検討.

学術研究部会：部会長 石渡執行理事

行事委員長 星執行理事

国内連携担当(専門部会・学術会議・連合) 西執行理事

国際交流委員会担当 石渡執行理事(特任)

今後独立した部会にするか検討する

地質基準委員会，地層名委員会

JIS 等を見据えて地質標準委員会を検討する

現地質基準委員会，地層名委員会をどうするか検討する

編集出版部会：部会長 小嶋執行理事

地質学雑誌編集委員会 小嶋執行理事，副委員長 山路理事，

企画部会 岩森会員

IAR 編集委員会 井龍執行理事

企画出版委員会 山口執行理事，藤林執行理事(リーフレット担当)

社会貢献部会：部会長 藤林執行理事

JABEE 委員会 天野理事

技術者継続教育担当 藤林執行理事(西執行理事，向山執行理事，坂口執

行理事がサポート)

地学教育委員会 中井執行理事

生涯教育委員会 平田執行理事，柴理事

ジオパーク支援委員会 担当は高木執行理事(特任)

(委員会設置から2年以上経過しているので体制を検討する)

地学オリンピック担当 久田副会長

今後この下ないしは理事会に委員会を置くよう検討する

2) その他委員会の構成：担当理事，任務や体制

支部長連絡会議 渡部副会長

地質災害委員会 斎藤副常務理事

名誉会員推薦委員会 久田副会長

各賞選考委員会 狩野彰宏理事(委員長), 天野理事, 安藤理事, 上砂理事, 永広理事, 榊原理事, 竹下理事, 松田理事, 村田理事, 山田理事, その他役職指定の委員.

委員の任期については, 現行の選考委員会規則による1年ごとに半数改選を, 理事等の任期に合わせて2年ごとの改選に変える.

男女共同参画委員会 藤本常務理事

法務委員会 上砂理事

選挙管理委員会

地質学史アーカイブス委員会 (再度登録するか問い合わせる)

研究委員会 各委員会に対し, 継続するかどうか確認.

2. 理事会規則の追加修正について

法務委員会の設置について, 定款で規定することを検討する.

3. HP 法人対応化案について (坂口理事)

広報委員会がメールベースで検討して, 次回理事会において決める. 国際ページの担当を国際交流担当にしようか.

4. 学会標準活動の一環としての外部要請対応: 原子力関係の基準作成について (渡部副会長)

JNES (原子力安全基盤機構) から調査報告書について, 学会としてレビューするよう依頼を受けた. 前向きに対応することとした.

5. 地質系統・年代の日本語表記について: 八尾会員からの問い合わせ

表記について拡大地層名委員会から事情取りまとめ報告と今後の対応についての確認があった. 地質学雑誌, 講演要旨は, 原則として, 地質学会推奨の日本語訳年代表を使う. それ以外の地質学会の刊行物については, 地質学会推奨の日本語訳年代表に従うとすることを確認し, 小嶋編集委員長から拡大地層名委員会へ回答する.

6. 「科学技術基本政策策定の基本方針 (案)」に関するパブリックコメントについて

とくに基盤的経費の増額, ポスドクおよび若手研究者の将来の安定化, 地学教員の増強等を求めるコメントを提出する. パブリックコメントの内容については, HP に公開する.

7. 高等学校理科地学教員採用に関する要望書 (中井執行理事)

要望書の提出は大至急行う. 支部にも通知し, 同様に要請行動を起こすことを依頼する. 意見書を HP に公開し, 関連の他学会にも送り同調を求める.

8. 今後7月以降の執行理事会の予定については, メール等で検討する.